

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

都市建設課

件名	佐賀県遺産に永溪山泰智寺・中村與右衛門屋敷の2件が認定されました
アピールポイント	平成31年3月25日に開催された「平成30年度第2回佐賀県美しい景観づくり審議会」からの答申を受け、令和元年5月15日付けで永溪山泰智寺・中村與右衛門屋敷の2件が「佐賀県遺産」として認定を受けることになりました。
説明	下記の2件が「佐賀県遺産」として認定されました。 名称:永溪山泰智寺 所在地:鹿島市大字浜町甲4242 員数:6 (主屋、土蔵、茶室、石橋、堀、正門) 名称:中村與右衛門屋敷 所在地:鹿島市大字音成甲817 員数:3 (本堂、山門、墓所) なお、今回の認定により鹿島市内の「佐賀県遺産」は建造物6件になりました。
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	建設環境部都市建設課
氏名	緒方 椋
TEL	0954-63-3415
FAX	0954-63-2313
Mail	toshi@city.saga-kashima.lg.jp

平成30年度 第2回 佐賀県遺産申請箇所一覧

申請者	佐賀県遺産名	所在地	概要
鹿島市	えいけいざんたいちじ 永溪山泰智寺	鹿島市大字浜町甲4242	永溪山泰智寺は、肥前浜宿の酒蔵通り近くにある鹿島藩鍋島家の菩提寺であり、元和八年（1622年）鹿島藩初代鍋島忠茂公により現在地に移築された。本堂に向かって左手の墓所には、初代忠茂公をはじめ歴代藩主の御霊が祭られており、菩提寺として鍋島家に手厚く処遇されてきた。寺の背景には松岡山が佇み、前面には多々良川が流れ、鹿島市を代表するロケーションである。
			
鹿島市	なかむらうえもんやしき 中村與右衛門屋敷	鹿島市大字音成甲817	中村與右衛門屋敷は、第4代七浦村長として40年に渡って村政の発展に尽くした中村家10代目與右衛門（当主寛治氏）が、明治43年に江戸時代の屋敷をその形状のまま建替えており、正門や主屋、茅葺の茶室など、一部が当時のままの姿で残されている。現在では、中村與右衛門の人柄と功績を偲んで保存会が発足し、演奏会や講演会の場としても活用されている。
			